

## 第 151 回日商簿記検定試験 模範解答

## 3 級

## 商 業 簿 記

## 第 1 問

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	売 上	350,000	売 掛 金	350,000
2	仕 入	850,000	買 掛 金	850,000
3	建 物	1,030,000	普 通 預 金	4,120,000
	土 地	3,090,000		
4	旅 費 交 通 費	11,250	未 払 金	16,250
	消 耗 品 費	5,000		
5	借 入 金	200,000	普 通 預 金	203,000
	支 払 利 息	3,000		

仕訳 1 組につき 4 点 合計 20 点

(配点は、当学院の予想です)

## 第 2 問

A	B	C	D	E
現 金	普 通 預 金	次 月 繰 越	仕 入	前 月 繰 越
①	②	③	④	⑤
11,000	925,000	418,000	95,000	9,000

各 1 点 合計 10 点

(配点は、当学院の予想です)

## 第 3 問

## 合 計 試 算 表

借 方 合 計		勘 定 科 目	貸 方 合 計	
2 月 28 日	1 月 31 日		1 月 31 日	2 月 28 日
362,000	110,000	現 金	2,500	304,500
		現 金 過 不 足		2,000
651,650	350,000	普 通 預 金		45,000
4,585,000	3,660,000	当 座 預 金	820,500	3,264,500
1,000,000		定 期 預 金		
2,635,000	1,615,000	売 掛 金	690,000	1,615,000
1,230,000	1,230,000	繰 越 商 品		
300,000	300,000	従 業 員 貸 付 金	50,000	100,000
1,000,000	1,000,000	備 品		
1,135,000	320,000	買 掛 金	1,135,000	1,395,000
60,000	30,000	所 得 税 預 り 金	60,000	95,000
		備品減価償却累計額	430,000	430,000
		資 本 金	5,702,500	5,702,500
		売 上	925,000	2,195,000
		受 取 利 息		50
1,330,000	820,000	仕 入	5,000	5,000
550,000	250,000	給 料		
15,000		広 告 宣 伝 費		
33,400	3,000	支 払 手 数 料		
11,500	5,500	水 道 光 熱 費		
15,000	7,000	通 信 費		
240,000	120,000	支 払 家 賃		
15,153,550	9,820,500		9,820,500	15,153,550

1 つにつき 2 点 合計 30 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第 4 問

(1)

## 商 品 有 高 帳

## X 商 品

平成 30 年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
6	1 前月繰越	100	300	30,000				100	300	30,000
	5 売 上				60	300	18,000	40	300	12,000
	8 売 上 戻 り	10	300	3,000				50	300	15,000
	12 仕 入	150	308	46,200				200	306	61,200
	22 売 上				180	306	55,080	20	306	6,120
	30 次月繰越				20	306	6,120			
		260	—	79,200	260	—	79,200			

(2)	(3)
¥ 70,080	¥ 6,160

(1)  1 つにつき 2 点(2) (3) 各 2 点 合計 10 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 第 5 問

## 貸 借 対 照 表

平成 30 年 12 月 31 日

(単位：円)

現 金	( 135,000 )	買 掛 金	813,000
普 通 預 金	( 978,000 )	前 受 収 益	( 33,000 )
売 掛 金 ( 500,000 )		資 本 金	4,396,000
貸 倒 引 当 金 ( △ 10,000 )	( 490,000 )	当 期 純 ( 利 益 )	( 658,000 )
商 品	( 235,000 )		
前 払 費 用	( 12,000 )		
建 物 ( 3,000,000 )			
減価償却累計額 ( △1,300,000 )	( 1,700,000 )		
備 品 ( 600,000 )			
減価償却累計額 ( △ 50,000 )	( 550,000 )		
土 地	1,800,000		
	( 5,900,000 )		( 5,900,000 )

## 損 益 計 算 書

平成 30 年 1 月 1 日から平成 30 年 12 月 31 日まで

(単位：円)

売 上 原 価 ( 1,998,000 )	売 上 高 3,890,000
給 料 ( 760,000 )	受 取 手 数 料 ( 3,000 )
水 道 光 熱 費 ( 162,000 )	
保 険 料 ( 36,000 )	
通 信 費 ( 32,000 )	
貸 倒 引 当 金 繰 入 ( 6,000 )	
減 価 償 却 費 ( 150,000 )	
雑 ( 損 ) ( 1,000 )	
固 定 資 産 売 却 損 ( 90,000 )	
当 期 純 ( 利 益 ) ( 658,000 )	
( 3,893,000 )	( 3,893,000 )

 1 つにつき 3 点 合計 30 点  
(配点は、当学院の予想です)

## 【3級解説】

## 第 1 問

1. 売上の返品額は、「売上」勘定から控除します。
2. 販売用の中古車なので、商品の仕入取引となります。
3. 固定資産購入時の付随費用は、固定資産の取得原価に含めます。
5. 支払利息： $\text{¥}1,000,000 \times 3.65\% \times \frac{30\text{日}}{365\text{日}} = \text{¥}3,000$

## 第 2 問

帳簿に記入された日付順に取引を考えていきます。統制勘定である買掛金勘定を取引先別に記帳したものが買掛金(仕入先)元帳です。よって、北海道商店と沖縄商店の買掛金元帳の金額を合算したものが買掛金勘定の金額となります。

10 月 1 日：前 月 繰 越

※「買掛金」勘定の前月繰越は、買掛金元帳の「北海道商店」と「沖縄商店」前月繰越額の合計なので、沖縄商店の 10/1 前月繰越 ¥120,000 が判明します。

10 月 8 日：（仕 入） 418,000 （買掛金（沖縄）） 418,000

※ 沖縄商店の 8 日の記入から仕入¥418,000 が判明します。

10 月 9 日：（買掛金（沖縄）） 9,000 （仕 入） 9,000

10 月 15 日：（買掛金（沖縄）） 331,000 （現 金） 331,000

※ 沖縄商店の 15 日の¥331,000 が判明後、貸借差額により 9 日の¥9,000 が判明します。

10 月 21 日 （仕 入） 821,000 （買掛金（北海道）） 821,000

10 月 22 日 （買掛金（北海道）） 11,000 （仕 入） 11,000

10 月 25 日：（買掛金（北海道）） 925,000 （普 通 預 金） 925,000

10 月 31 日：次 月 繰 越

※ 「買掛金」勘定の次月繰越は、買掛金元帳の「北海道商店」と「沖縄商店」次月繰越額の合計なので、北海道商店の 10/31 次月繰越 ¥95,000 が判明します。なお、北海道商店の 21 日¥821,000、31 日¥95,000 の金額が判明後、22 日の金額¥が貸借差額により判明します。

## 第 3 問

2 月の各日付における取引の仕訳は以下のとおりです。

1 日	（ 売 掛 金 ）	350,000	（ 売 上 ）	350,000
2 日	（ 仕 入 ）	260,000	（ 買 掛 金 ）	260,000
6 日	（ 売 掛 金 ）	220,000	（ 売 上 ）	220,000
7 日	（ 支 払 手 数 料 ）	30,000	（ 普 通 預 金 ）	45,000
	（ 広 告 宣 伝 費 ）	15,000		
9 日	（ 所 得 税 預 り 金 ）	30,000	（ 当 座 預 金 ）	30,000
13 日	（ 売 掛 金 ）	450,000	（ 売 上 ）	450,000
〃	（ 支 払 手 数 料 ）	400	（ 現 金 ）	400

14 日	( 現 金 )	250,000	( 売 上 )	250,000
〃	( 現 金 )	2,000	( 現 金 過 不 足 )	2,000
15 日	( 普 通 預 金 )	301,600	( 現 金 )	301,600
16 日	( 仕 入 )	250,000	( 当 座 預 金 )	250,000
19 日	( 普 通 預 金 )	50	( 受 取 利 息 )	50
20 日	( 給 料 )	300,000	( 所 得 税 預 り 金 )	35,000
			( 従 業 員 貸 付 金 )	50,000
			( 当 座 預 金 )	215,000
〃	( 当 座 預 金 )	925,000	( 売 掛 金 )	925,000
〃	( 買 掛 金 )	815,000	( 当 座 預 金 )	815,000
26 日	( 定 期 預 金 )	1,000,000	( 当 座 預 金 )	1,000,000
27 日	( 支 払 家 賃 )	120,000	( 当 座 預 金 )	120,000
28 日	( 水 道 光 熱 費 )	6,000	( 当 座 預 金 )	14,000
	( 通 信 費 )	8,000		

## 第 4 問

- (2) 商品有高帳の払出欄の記入より

売上原価： $\yen18,000 - \yen3,000 + \yen55,080 = \yen70,080$

- (3) 先入先出法の場合、月末商品 20 個の仕入単価が一番最後に仕入れた商品の単価が適用されます。よって、12 日仕入分の単価
- $\yen308$
- により計算します。

次月繰越高： $20 \text{ 個} \times \yen308 = \yen6,160$

## 第 5 問

1. 現金預け入れについて

( 普 通 預 金 )	50,000	( 現 金 )	50,000
-------------	--------	---------	--------

2. 現金過不足について

( 通 信 費 )	2,000	( 現 金 過 不 足 )	3,000
( 雑 損 )	1,000		

3. 仮受金について

( 仮 受 金 )	68,000	( 売 掛 金 )	68,000
-----------	--------	-----------	--------

4. 車両の売却について

( 車両運搬具減価償却累計額 )	700,000	( 固 定 資 産 売 却 損 )	700,000
------------------	---------	-------------------	---------

<参考：売却時の正しい仕訳>

( 車両運搬具減価償却累計額 )	700,000	( 車 両 運 搬 具 )	800,000
( 現 金 )	10,000		
( 固 定 資 産 売 却 損 )	90,000		

## 5. 貸倒引当金について

(貸倒引当金繰入)	6,000*	(貸倒引当金)	6,000
-----------	--------	---------	-------

売掛金の期末残高の 2%(¥10,000)を貸倒引当金として設定するため、決算整理前の貸倒引当金残高 ¥4,000 に ¥6,000 を繰り入れます。

$$* (\text{¥}568,000 - \text{¥}68,000) \times 2\% - \text{¥}4,000 = \text{¥}6,000$$

## 6. 売上原価の算定について (仕入勘定で算定した場合)

(仕入)	198,000 <sup>*1</sup>	(繰越商品)	198,000
(繰越商品)	235,000 <sup>*2</sup>	(仕入)	235,000

売上原価の算定仕訳は「仕入」勘定や「売上原価」勘定を使用する方法がありますが、いずれの場合も損益計算書や貸借対照表上の表示は同じです。

\*1 期首商品棚卸高：整理前試算表の「繰越商品」勘定残高より判明します。

\*2 期末商品棚卸高：問題文資料より判明します。

## 7. 減価償却について

(減価償却費)	150,000	(建物減価償却累計額)	100,000 <sup>*1</sup>
		(備品減価償却累計額)	50,000 <sup>*2</sup>

$$*1 \text{ ¥}3,000,000 \div 30 \text{ 年} = \text{¥}100,000$$

$$*2 \text{ ¥}600,000 \div 5 \text{ 年} \times \frac{5 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \text{¥}50,000$$

## 8. 保険料について

(前払費用)	12,000	(保険料)	12,000
--------	--------	-------	--------

## 9. 受取手数料について

(受取手数料)	33,000	(前受収益)	33,000
---------	--------	--------	--------

当期に受け取った手数料のうち、11 ヲ月分(翌年 1/1～11/30 分)は次期の期間に対するものなので、当期の受取手数料から控除し次期に繰り延べます。

$$* \text{ ¥}36,000 \times \frac{11 \text{ ヲ月}}{12 \text{ ヲ月}} = \text{¥}33,000$$